

平成 30 年度事業報告書

1 全般

- (1) 本年度は、法人及び施設運営に大きな支障をきたす事項、法令違反等に抵触する事項等の発生はありませんでした。年度計画にもとづく事業は概ね実施し、また予算の執行も適正に行うことができました。社会福祉法人として求められるものは、近年、一段と厳しいものとなっていることから、本年度の実績を真摯に踏まえ次年度に反映させることが必要と考えるものです。
- (2) 本年度から次年度にかけて、総工費約 2 億 5 千万円余を計上し、施設内外のリニューアル、入所者居室多床室の仕切り、諸記録の ICT 化、職員休憩室の増設、非常用発電設備の新設等の工事を開始しました。

2 法人

(1) 組織運営

法人の運営は特に問題もなく実施し、また理事会及び評議員会の任務も円滑に実施できました。今後の課題としては、法人としての組織運営能力の一層の充実を図ることが必要と考えるところです。

(2) 諸情報の開示

ア 電子開示システムによる法人現況、決算内容等の開示を行い、また法人ホームページでも開示を行いました。

(3) 社会福祉充実計画

ア 松江市長の承認を得て、平成 29 年度を初年度として策定した計画の一部変更を行いました。

イ 計画 2 年度目の実施状況は、別紙のとおりです。

ウ 計画の一環として行う、利用者の居住環境改善及び職員の勤務環境改善に係る施設内外の改修等については、H30 年度から令和元年度での計画として施工業者を決定し改修等工事を開始しました。また看護、介護職員の勤務環境改善として諸記録 ICT 化を令和元年 6 月から運用する計画で必要な諸調整を行いました。

(4) 人事・給与等

ア 特に介護職員の採用は、引き続き厳しい状況が続いており、ハローワークへの継続求人あるいは求人説明会への参加を行いました。採用は 1 名に止まり期待する求人数には至っておらず、今後、求人については幅広い方法を検討する必要があると考えます。

イ 介護職員については、国の介護職員処遇改善施策を引き続き実施し、全職員については、法人独自の処遇改善として法人勤務年数に応じた一時金の支給及び新規採用正職員については、採用後 5 年間月額 1 万円の手当の支給を行うこととしました。

(5) 災害対策

ア 事業運営に支障をきたす災害の発生はありませんでした。法人、施設の所在する地元地区とは「災害時における相互協力に関する覚書」にもとづき普段の連携を図っ

ています。

イ 積雪時の対策として除雪機を購入し、また次年度において非常用発電設備の設置を決定し設置計画を策定しました。

(6) 実地指導監査

9月に松江市福祉部福祉総務課により、法人の運営状況についての平成30年度実地指導監査が行われました。監査の結果、文書指摘事項はなく口頭指摘事項および助言があり、これにもとづき是正等を行っています。

(7) その他

ア 社会福祉法人による利用者負担額軽減制度の適用は、前年度に比べ負担額は増加(約1.3倍)しています。

イ H11年、当時の美保関町から、20年間の無償貸与を受けている施設用地(4,997㎡)が、本年度をもって期間満了となるため、現在の土地保有者である松江市と引き続き使用することで調整を行いました。調整の結果、有償貸与として引き続き使用することになりました。

3 施設

(1) 運営

ア 年間利用率は、特養94.5%(H29年度93.8%) 短期入所58.2%(29年度58.7%)であり、H29年度とほぼ同率の状況でした。

イ 特養(定員:50名)入所者は19名、退所者は20名でした。入所者のうち要介護度4及び5は入所者総数の約95%、平均年齢は88歳と重度化、高齢化の状況が如実に現れています。

ウ 人命、設備に著しい影響を及ぼす事故等の発生はありませんでした。ヒヤリハット報告は81件(H29年度83件)で29年度とほぼ同じ報告数となっています。

エ H30年1月、インフルエンザの施設内感染拡大が発生したことを踏まえ、感染予防の強化あるいは流行ピーク時には入所者居住区域への立入り制限を行うなど予防対策を推進した結果、入所者、職員のインフルエンザ発症者は見られませんでした。

(2) 人事

ア 近年、多岐に及んでいる施設事務処理の強化のため事務職員1名を採用しました。

イ 介護職員については、退職1、採用1と増減のない状況でした。

ウ 生活相談員の産前産後休暇及び育児休業中の代替要員として、介護職員1名の配置替を行いました。

(3) 施設改修等

法人の計画により1月より施設内外の改修を開始し、施設建物外壁の再塗装・補修、屋上防水の更新、電話設備の更新が終了し、職員休憩室の増設工事が進捗中です。

引き続き令和元年度には、施設内内装の更新、一般浴槽の改修、照明のLED化、エレベーター更新、多床室間仕切り等を予定しています。

(4) 備品の更新

チェアインバス(特殊浴槽)の更新を行い、また安全確保及び防犯対策向上のため監視カメラ3基(既設5基)を増設しました。

(5) 地域交流

ア 地域交流として前年同様、施設夏まつりへの参加要請、地元イベントへの参加、地元中学校の福祉体験学習の受け入れ、地元ボランティアグループによるプランターの提供等を交流を行いました。

イ 地元民生委員 16 名の施設見学があり施設の現状等について説明を行いました。

社会福祉充実計画実施状況(2か年度目：H30年度)

(単位：千円)

事業名	計画内容	計画概算	使用額	使用内容等	備考
職員給与等改善	・基本給の増額 (2,500円/月)	1,000	828	平均23名(月一人平均3,500円)	
	・夜勤手当の増額 (2,000円/回)	1,460	1,460	年間14名に支給	
	・在職年数に応じた 一時金の支給(全 職員)	2,325	2,362	30年7月、27名に支給	
	計	4,785	4,650		
職員育成	職員の各種研修受講 等の費用助成	125	4	ケアマネ専門研修者1名に助成	
介護職員の増員	介護職員3名の採用 経費(基本給、手当)	8,979	3,086	・29年度採用×1名分(1年間分) ・30年度採用×1名分(5ヶ月分)	
職員の勤務環境改善(I)	休憩室の増設	12,000	19,440	工事開始31年3月	完成は令和元年度6月予定 当初20㎡×2を36㎡×1に変更
職員の勤務環境改善(II)	監視カメラの設置	1,500	1,047	29年11月4基設置 31年3月、4基設置	
	記録のICT化	4,500	4,990	31年3月システム設置開始	運用開始：令和元年6月予定
利用料減免	低所得利用者(30人) に対する社会福祉法人 軽減負担	1,800	2,157	本入所25名 短期2名	
利用者の生活環境改善(II)	・浴室の改修	24,500	細部検討中		令和元年度に実施
	・特殊浴槽の更新	12,500	7,756	31年3月、1台更新	当初計画2台を1台とした。
	・建物屋上及び屋根 の防水再施工	21,740	18,530	31年3月終了	
計		91,929	61,660		

* 職員の勤務環境改善(I)、(II)及び利用者の生活環境改善(II)使用額は、契約額(税込み)。